

### 第3回 全国都市緑化くまもとフェア（仮称）基本構想検討委員会 議事録

【日 時】 平成30年11月12日（月）14時00分～

【場 所】 熊本市役所 議会棟2階 予算決算委員会室

【出席委員】 全14名中13名出席 ※以下、敬称略

東京農業大学	名誉教授	蓑茂 壽太郎（会長）
熊本大学	名誉教授	内野 明德（副会長）
九州大学大学院	准教授	藤田 直子
熊本大学	准教授	円山 琢也
熊本商工会議所女性会	理事	濱田 麻里
熊本市中心商店街等連合協議会	会長	安田 二郎
熊本国際観光コンベンション協会	理事	吉村 尚子
熊本市花き振興協議会	会長	村上 昭光
熊本市公園愛護会連合会	会長	大川 洋次郎
熊本市造園建設業協会	会長	吉村 昌洋
立田山自然探検隊	会長	藤井 由幸
熊本市学校環境緑化コンクール 公募委員	審査委員長	福井 俊介 桑原 たか子

※欠席委員 水前寺活性化プロジェクトチーム 代表 永野 陽子

#### 【議事概要】

1. 開会
2. 議題

##### （1）前回会議の振り返り

（事務局）～資料1に基づき説明～

（会長）議題1について何かありますか。今後の取組みの中で温暖化対策があるけど、SDGsも入れておかないとまずいでしょうね。そういったものを目指していくんだと。基本構想の素案では、これまでの緑化フェアをレビューしながら熊本の緑化フェアを考えるとありますが、新しい概念も入れないといけないと思う。熊本は2回目だから、初めてやるところとは違うので、それも盛り込んでおかないと。

##### （2）プロジェクトチームからの報告

（事務局）～資料2に基づき説明～

（会長）プロジェクトチームは何人行かれましたか。

（事務局）11名中9名です。

（委員）先だって、6名の委員の方と一緒に回りました。僕は、どっちかというところが専門でして。会場には8つのエリアがありまして、入ってすぐには学校の生徒の写真入りのプランターで育てた花がありました。ドームの方も花の品評会もあり、珍しい花や、

バラ関係、野菜づくりの畑もつくってあって変わったやり方をされているなど感じました。熊本ではどういうふうにするのか。新しい花や、珍しい花、熊本で取れる花をアピールできたらと思います。全部は回れませんでしたけれども、色々勉強させてもらいました。

(会 長) 花の素材としては熊本の方が勝てそうですか。

(委 員) 自信を持ってあります。熊本は生産県で県外にも花を送っていますので、春先だったらどんなものでも大丈夫です。

(委 員) ゆめ花博を見学して、北海道の富良野の花畑をイメージするようなお花のエリアは感激しました。お花一つ一つに手入れが行き届いていて、枯れたお花がほとんどありませんでした。ただ、ゴミ箱が全然なくて、ゴミが出た時にずっと持っていなくてはならなかったのがストレスになりました。また、いたるところに休憩所があって、待たずに休憩が出来て良かったです。無理をしないでゆっくり過ごせるスペースがたくさんありました。お花の品評会のところは、お花はすごくきれいでしたが、器がお花屋さんにおいてあるような何も飾りっ気のないバケツなどに入れてあったのが残念で、折角山口県で萩焼とかあるのでそれを活かせば良かったのではないかと感じました。熊本で開催するときには熊本の陶器を使ったり、お花の先生方のご協力をいただいて、きれいなお花をきれいに見せるように工夫した方がいいと思います。

(会 長) 最近はゴミ箱を置かない傾向ですから、会場にはゴミ箱はありませんと広報してあるのかな。

(委 員) テーマですが、ガイドブックのところに「山口ゆめ花博」の下に、ゆめの未来公園はじまる！とあったので、それを実際に感じるかなと思ったのですが、公園といえば家族でお弁当を食べ、くつろいだりできて未来公園ですが、良く見てみると「山口から開花する、未来への種まき。～150年を振り返り、次の150年につなぐ～」と書いてありますが、それを果たして感じたかなというところかなと。あまり歴史的なものを感じなかったで、その部分は果たしてどこだったのかなと疑問に思いました。やはり、いかにつなげていくかということが大事だと思いました。私たちはまず最寄駅から入ったのですが、最寄駅に花博をイメージさせるものがあまりなく、実は花博が始まった時に山口に行ったのですが、新山口駅にはそんなに寄ってみようかなという感じがしなかったで、ぜひ最寄駅とか大きい駅にはそれを盛り上げる様な、例えば別の目的で来た人たちがちょっと行って見ようかなと思えるような盛り上げ方とか、あと駅から会場までをつなぐあたりでちょっとワクワク感が高まっていくようなそういうものがもう少しあればなと感じました。旅行で来た人がその会場に行った時に、荷物を預けるようなところをつくるのか、旅行者はあまり来場の対象にしないのか、どういうテーマでどういう方々に来てもらうか、で会場は決まってくると思います。会場の中で、一見関係のないような大道芸人の方がいて、ただシャボン玉を飛ばすとお花畑の風景と相まってとても素敵だと思ったのですが、お花に合うようなBGMもあった方がいいのではないかなと思いました。熊本では街なかでストリートアートプレックスがあるので、そういったところとうまくコラボレーションして、音楽と一緒にすることは出来ないだろうかと思います。あと会場に数回足を運ばせることはで

きないだろうか。例えば、開催の初めに植えたお花が、終わりの方ではどんなふうに着ているかを見てもらうとか、色が変わるとか、数回足を運んでもらって変化が見られる様なものがあればと思います。それから SNS で話題になるようなことをするのも良い。花のゾーンの中にシークレットゾーンというところがあり、地図にはない場所で、秘密とかそういうものには惹かれるものがあります。例えば、中には黒い植物とか黒い実のなるものがあり、ブラックゾーンとかでここで皆さんの嫌なことを吐き出すみたいな、そういう面白い話題になるような何かをつくると、若い方などは楽しんでいただけるのではないかと思います。ここに来た子ども達が、将来あそこに行ったよね、こんなを見たんだという話しが出来る様な、記憶に残るようなものをお願いしたいなと思います。

(委員) 全体のテーマは、みどり豊かなまちづくり、明日のみどりを今つくろうとなってますが、学習の機会があまりなかったなと思いました。ワークショップとかガイドさんによるガイドで勉強にはなりましたが、ここに来て何か新しい発見や学んだ体験はあまり無かったと思います。ガイドさんの説明はありましたが、看板も何もなく、関心のある方はこれとこれを組み合わせると農薬が少なくいいと思うかもしれないけど、これはわからない。こういった部分が学習としてマリーゴールドとこれ、トマトと何とかを組み合わせる事で農薬が少なく出来るとか、温暖化のために壁面緑化、屋上緑化の提案が庭のゾーンあたりにでもあったらいいのではと思います。暑い熊本での開催、難しいテーマです。プランターもたくさんありましたが、エコな土、軽い土とか、エコだとか、リサイクルだとかそういったことをテーマにした、プランターがあるともう少し身近に感じられるし、ガーデニングをしたい人にとっては重いとか、マンションやアパートに暮らしている方はその土をどうするかとか、水管理を合わせて提案とできるといいのではないのでしょうか。以前、田主丸のイベントでは坪庭 2m×3mのゾーンがたくさん何十もあって、そこも一般の人、業者、学校関係者がいろんな提案をして、そこを歩くだけでも楽しかったので、今回の花博でも展示が 20 箇所ぐらいありましたけど、その雰囲気は熊本の植木市とあまり変わらないなと思って、熊本の植木市がこのままくと十分なボリュームがありいいなと思った。狭い空間でも、一般の人からも提案していただけるようなイベント、あるいはコンテナガーデンのコンテストが無かったなと思いました。コンテナのコンテストになると、壁面あるいは道路沿いを飾る事ができますし、色んなお花のデザイン、組合せを見る事ができるし、そこに熊本ならではの特徴あるお花を組み合わせると面白いのではないかと思います。くまもとフェアの開催時期はおそらくハウステンボスのガーデンショーの時期と重なるので、世界のガーデナーとのコラボがあると、もっと学びが増えるのではないのかなと思いました。つくばの植物園に行ったときには、絵葉書のお土産がたくさんあって、その絵葉書も毎年植物開花コンテストをされていて、その優勝作品が絵葉書になって並べてある。植物の名前と繊細な美しさで購入される方がたくさんいらっしゃいました。写真コンテストも楽しめませんが、絵画も子どもや、大人の方々が一生懸命植物を見て書かれるので、花を学習する機会になり、入賞作品が販売されることで、書く側もやる気ができるのではないかと。お土産が少なかったのも、せめて絵葉書ぐ

らいはと思いました。最後に、関東の植物園で、入口に植物園で採れる木の実と木の葉っぱが全部ずらーっと並べてあって、この木の実はこの辺にあります、この葉っぱはこの辺にありますと。その季節にとれた木の実が並べてあったのが面白かったです。まず、そこで勉強をして興味を持って植物園の中を散策するコースができていて、「今から始まる明日の緑を今つくろう」という部分には、そういった啓発的な学習機会の提案が欲しいなと思いました。

(委員) ゲートのところにモニュメントがあったけど、丸い輪っかのやつですが、鉄骨はお金がかかっているかもしれませんが、これはパレットで、原価的に安いものを使われていて、参考に出来る点だなと思いました。モニュメント以外にも、ステージがあるところの横の壁面緑化の裏側も、壁面の基盤としてパレットが積んで使われて、非常に安く上げられ、見栄えも良くてつくってあったので気になりました。花が沢山植えてあるので灌水設備は非常に時期的に暑い時期に開催されているので、その点が大変かなと思いました。花の谷ゾーンで私のところに付かれたガイドさんは高校生のガイドさんだった。若い時から花の勉強をされていたので、いい教育の場になるなと感じました。11月に入っても天気がよくて暑かったのですが、休憩の場所としてあちこちありましたが、木の下で休まれている方が多いなと感じました。木陰というのは必要だなと改めて思いました。現地の会場には、非常に広くて何千台も入るような駐車場がありました。熊本で開催する時は、果たして公共交通機関の施設だけでまかなえるかなと思いました。熊本では数か所で開催が見込まれていますが、やはりその場所での地形や特徴を活かした活用が必要と思います。

(委員) お天気のいい金曜日に花博に行って、会場には車いすのお年寄りの方や、ベビーカーを押したお母さんたちをたくさん見かけました。その方たちへの配慮は必要です。パブコメだけではなくて、そういう方のご意見も参考にすることも今後必要と思います。車いすの方のための自然観察会か、ベビーカーを押したお母さんのための自然観察会とか、そういったものをやっていきたい。子ども達のお見知り遠足の時期でもあるので。今の遠足は行って学んでちょっと遊んで帰る。子ども達に花を育てるだとか、カボチャを栽培するだとか、教科書では学べない体験ができるような仕掛けをつくってあげる事が出来ればと思います。多様な人が緑化フェアには来られます。庭屋さんが100万儲けようという庭ではなくて、ベランダでどうするかとか工夫が読み取れるようなコンテストに変えていかなくてはいけない。緑化フェアが始まったころには、個人の住宅展みたいなコンテストがありましたが、それだけではなかなか満足して頂けない。そういう中で農業を使わないためにはどうしたらいいのかとか、おいしく食べるためにはどうしたらいいのかとかテーマがでてくると思います。先ほどの委員の話聞いて、お金がなければ知恵が出るのです。お金があると知恵もでないのです。お金をどうするかの工面もあるのですが、知恵を出す時間が欲しいですね。それから先ほど局長があいさつされたような、事前から事後までフェアを真ん中に挟んで、事前に関心のあることをやって、フェアをやってこの時間を大事にしたい。ユニバーサルデザインのチェックを来年くらいからやっていきたいと思います。

### (3) オープンハウス（アンケート）の結果報告

（事務局）～資料3に基づき説明～

（会 長）結果報告について何かありますか。熊本の誘致している認知度は15%というのは多いのではないかと思います。

（委 員）今年の6月2日に熊日新聞に掲載されていますが、熊本市としてはまだ決定していない以上、まだ広報活動に入れたいのではないですか。

（事務局）3月に緑化フェアの基本構想の大臣申請をしまして、それから正式に決まってから広報活動をやっていききたいということです。

（会 長）これから先進めるにあたり、チェックリストをつくってみるといいと思います。

### (4) くまもとフェア基本構想書の素案について

（事務局）～資料4に基づき説明～

（会 長）本編について何かありますか。

（副会長）フェアに向けて水を差すようで申し訳ないのですが、特に気になるのが江津湖と立田山、この辺は園芸植物の逸失や、国内国外の外来生物が繁茂してくるということが起こりうる危険性があります。緑化フェアをやったら熊本の豊かな自然環境が、園芸植物の外来種の繁茂により生物多様性がおかしくなった、ということにならないように、そのことを構想書の中に謳っておく必要があると思います。逸失防止とか国内外来種の繁茂の防護をすとか。

（会 長）P26の植物調達計画のところに、生物多様性時代というのを踏まえて、植物調達をする場合に場所に依じて、特に混乱を起こすような移動の仕方をしないということを記載したらいいんじゃないかな。

（委 員）P4のこれからの全国都市緑化フェアに求められる役割で、平成26年に有識者による検討会を実施して、①②③④を注意しながら進めていこうと決まっているので、基本構想の中でも、どこでどんなことをしていくのかがきちんとわかるように構想書を作成することが、大臣への説明で必要ではないでしょうか。全体の方向性に則ってフェアは開催されるということを説明することが重要ではないかと思います。

（会 長）緑化フェアの形態も①～④という新しく転換をしたから、そのことをきちんと踏まえてやっていることを読み取れるようにしときましょうと。例えば多様な主体の参画や地域らしさはさっきから意見は出ている。熊本で緑化フェアを開催する背景と意義の中で、昭和61年にやった緑化フェアは、年表には入っているけどあれは県がやったから、今回は市がやるのであまり関係ないような位置づけをしているような気がしますが、そうではなくて、あの時は市も共催していますので、フェアは2回目なので、これを強調しないといけない。進化しないとだめだよということですね。だから熊本の人には、「ああ、緑化フェアね、昔やった。」という人が多いから「うわあ全然違った！」と思うものにしないといけない。

（委 員）2点だけいいですか。一つは質問ですが、肥後六花のうち3月から5月の間で楽しめるお花はどれですか。

- (委員) 春先で咲いているか咲いてないかのぎりぎりのところでは、椿、山茶花で、菖蒲も大丈夫かな。
- (委員) もう一つはこういったイベントでは地域の課題の解決することが大切で、立田山は副会長がおっしゃったように、今の植物の生態系がおかしくならぬようにすることが必要だと思います。立田山をガイドする上で、水辺も山の中も、イノシシが掘った跡があり歩きにくくなったり、道が半分落ちたりしているところもあります。先週は我が家のにわとりがたぬきに食べられて、うちは熊本市内ですが、玄関先にたぬきが来ました。イノシシやたぬきなどの生き物との共存は難しいのかもしれませんが、そういった対策は全国的な地方の課題なのではないかと思います。何か対策があればと思います。
- (会長) たぶん熊本の緑が豊かだと感じるのは、立田山や風致地区で指定されている5、6箇所のだと思います。指定したところは熊本市域の30%で、それがマイナスの要因にならないようにするにはどうしたらいいか、緑化フェアでは考えなくてはいけない。だからそのモデルの一つとして立田山を会場にして考え、森に親しむ運動をどんどんした方がいい。
- (委員) こういうイベントは、実際に花とか緑とかの仕事に関係の無い人が関わって下さることによって広がり生まれ、後につながっていくと思います。今回コンテストがありますが、肥後六花を美しくデザインされたものはあまり見かけないなとっていて、例えばフィンランドのマリメッコなど有名ですが、あんなふうにデザインされたものを肥後六花でもつくり、フェアでしたとなったら熊本らしくていいなと思います。デザイン関係の学生さんにも参加していただくきっかけにもなるので、「肥後六花を靴下にデザインしよう」みたいなものもあってもおもしろいのではないかなと思います。
- (会長) こないだの話からの続きで、具体的に第一歩をそういう踏み出し方をする。それがピンバッチになるかもしれない。あるいは、販売するお土産・グッズになるかもしれない。デザインの力はすごいと思います。崇城大学はデザイン学科がありますよね。
- (委員) 子どもたちの力も取り入れていく必要があると思います。子どもたちのコンテストや花生け教室など、地域の人達とのふれあいを大切にするべきだと思います。そういった場所も大事で、ぜひいいことだと思うので、ぜひこれをやっていただきたいと思います。
- (会長) シンポジウムはMICEでやるでしょうし、色んな場所を使いながら。具体的には基本計画でやるとは思いますが。熊本城公園は入れるの。立ち入り禁止ではないでしょうね。
- (事務局) 熊本城の見学通路が出来上がっているの、復旧過程を公開し、皆さんに天守閣の周りを歩いて見てもらおうと思っています。文化財との絡みで協議が必要ですが、二の丸広場や城彩苑一帯を上手く活用しつつ、シンボルプロムナードを通過して大広場から街なかに入ってきて、楽しんでもらおうと思っています。
- (会長) “熊本城を望むシンボルプロムナード” がいいとちょっと感じました。緑化フェアは新しい公園をつくってやっていくということが有難かったけど、中々新しい公園は出

来ないので、既存の公園を活用。今度の緑化フェアはシンボルプロムナードが新しく生まれ変わるから、非常にこれは売りになっている。熊本城公園及びシンボルプロムナードという書き方がいいのか、ちょっと気になるので向こうとも話し合っただけ進めて下さい。

(委員) いろんな植物を持ち込むことによって特定外来種が増える。場合によっては希少生物に影響を与える。きれいに草を刈って、植生を変えてしまうと動物界にも影響が出てくる。立田山は緑が豊かな所なのでイノシシの問題、鹿の問題で大騒ぎしていますが、じゃあ緑をなくしてしまえばいいのかということ、そういう問題ではなくて習性として人間の近くの方がいい餌がとれるということで、どんどん降りてきているわけですから、植物のフェアであるとともに、動物界、自然界全体もとらえる方法を今後やって頂ければと思います。

(会長) バイオフィリアという概念、生物を通じてということをやっていかなくてはならない。

(委員) 「みどりのまちづくり」という言葉が何度も出てきました。「一過性ではない」というキーワードも良く出てきました。みどりのまちづくりは、決してみどりや花できれいに飾ることだけではなくて、みどりは量から質になっていて、質から機能や効果、ここを求められる時代になっている。緑化フェアを開催するまでの期間に、熊本市が行う公共事業に対してグリーンレジリエンスであるとか、グリーンインフラであるとか、そういう視点を全ての公共事業に対して配慮をするんだというそういうことも一過性ではない。この緑化フェアというものを目指しながら、しかも熊本市全体がそちらの方向に向かう。まさに緑、グリーンを意識した街づくりというものを進めていきます、という方向性の考え方も入れていくといいと思います。もう一つは、駅スタイルのデザインもその通りだなと思いますが、花が緑という生ものをどう活かすかの視点だけではなくて、そのデザインをフェアの時だけではなくて、今後ずっとデザインによさというのは継続して、広がっていくのは充分ありえるので、そういう視点は重要だなと思いました。新しくデザインしてそれを生み出していくものと、もう一つは熊本にある多様な伝統文化と花・みどりをコラボすることもおもしろいのではないかなと思います。

(委員) 先程の委員のお話に補足したいのですが、紙で出来たお花を企画されているのがあり、すごくきれいで印象に残ったのでちょっと皆さんにご紹介したいです。こういうお花を例えば肥後六花のシーズンではないものを紙で展示したりとか、これがキットになって手作りで売られたりしていますが、お土産に使用するのはいかがでしょうかと思いました。

(委員) 熊本市のマンホールの蓋に肥後六花を書いているのがありますが、昭和61年の第4回の緑化フェアの時に、8月の暑い時期に73日間で125万人集まっています。水前寺の江津湖公園の会場だけだったけど、今度は立田山や熊本城公園とか会場が数ヶ所に分かれるので、交通のループをどういうふうに広報できるか。山口フェアでは外国人をあまり見かけないように思いました。しかし、熊本では来年は世界ハンドボール大会とかラグビーのワールドカップとか、外国からも多く来られますので、ガイドを

する対策も必要と思います。多くの人に来てもらって、どのルートをどのようにして回るかを考えなくてはならない。熊本城、水前寺公園も、動物園もお金はとりますが、先ほどは無料にする話もありましたが、無料でできるのかが今後の課題でしょう。電車、バスが割引料金で利用できるかどうかもある必要があります。

(会 長) これは大事ですね。3会場ですから、やはり3会場見たい人はいる。特に、外から来た人は電車の共通券があるとか、公共交通機関を多く使うように考えるべきでしょうね。

(委 員) 熊本の業者さんで、入浴剤になるお花をつくられているところがあります。もう一つは、山口の花博では假屋崎省吾さんの写真がメインロードに飾られていましたが、熊本ではぜひ新しいガーデナーさんやデザイナーさんの発掘という意味で、この時期にはいけばな展がデパートなどで開催されていると思いますが、大きなサイズのアレンジメントなどの作品を、熊本でのイベントをきっかけに世界に出ていかれるような、発掘の機会になればいいなと思います。チャレンジしたいという方もいらっしゃると思います。

(会 長) 山口の花博では「緑化祭」が行われ、秋篠宮同妃殿下がおいでになるものですが、ドームで山口県の花を使いたいけばなを展示してあり壮大ですごかった。そういったところのコラボが大事だな。

(委 員) 開催理念の中に、熊本地震からの復興がありますが、熊本城の話だけにしないようにしていただきたい。パートナー会場の南阿蘇村や西原村など、色んな復興事業ができあがってくるので、震災遺構を巡るなど、そういった話も盛り込まれてもいいのかなと。

(会 長) 震災ミュージアムはできたのですか。

(委 員) まだ、回っていく感じです。

(会 長) 巡回型か。この前、博物館がリニューアルしたがなかなかよくて、江津湖の模型もあるし、ぜひああいったとこでやってもらったらいい。素案の意義や理念は、この前骨子で整理できたが、まだ言葉が足りない所がありますのでそこは補ってほしいと思います。緑化フェアだからといって、植物の導入の仕方、生物多様性が盛んに議論されている時代なので、熊本市は環境共生課があって、そこと調整が必要なので気を付けて下さい。このあとパブコメをやって素案に対して市民の意見を聞くので、今の修正を私の方に預らせて頂き、もし手を入れるようだったらそうさせていただいてまとめますがよろしいでしょうか。

(事務局) 一点だけ補足をさせて下さい。入場料等について先ほど委員の方からの話も出ましたが、多くの方に来ていただきたいので無料にすることを基本としていますが、今の有料の施設をどうするのかは、基本計画以降に検討します。

(会 長) これは、経済波及効果があることをきちんと書いておかないと誤解を招く。何でも全部税金でやるという印象になるので、必ずイベントで税収にかえってくるんだという仕組みがあるので、緑化フェアでもそのようなことをぜひ。だから、入場料を取らないとしとかなないと誤解を招いてしまう。



(5) 今後のスケジュール

(事務局) ~資料5に基づき説明~

(会 長) 次回の第4回はいつかな。

(事務局) 2月上旬を予定しています。

(事務局) 何か質問はありますか。よろしいでしょうか。事務局にお返しします。

4. 閉会

以上